



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	江部, 高廣; 辻野, 守典; 關, 淳一 他
Citation	makoto. 1996, 93, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/85896">https://doi.org/10.18910/85896</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 新年のごあいさつ



大阪府環境保健部長  
江部 高 廣

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

年頭に当たり、本府の環境保健行政に常々格段の御協力を賜っております皆様に改めて厚くお礼申し上げます。

さて、本府では、これまで主として個々の疾病対策中心の保健医療施策や個別対策としての生活衛生施策を推進してまいりましたが、都市構造が複雑化し、府民のライフスタイルが多様化している今日にあっては、従来の個別的・縦割的な施策の枠組みを越えた積極的な施策が必要であり、その指針となる「大阪府健康ビジョン」を策定したところでございます。

また、関西国際空港の開港から1年以上が経過し、昨年2月から全国でみられたコレラ患者のほとんどに海外渡航歴があったことや昨春に西アフリカで猛威を奮ったエボラ出血熱など、「国際都市・大阪」を取り巻く状況には厳しいものがございますが、検疫所や府下市町村と連携した総合的な輸入感染症対策を積極的に実施してまいりたいと考えている次第でございます。

このような中で、来るべき21世紀に向けて「健康都市・大阪」を構築するためには、半世紀にわたり貴協会が培われてきた経験と知識の御協力が不可欠でありますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご健勝を心からお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 年頭に当たって



財団法人 大阪防疫協会  
理事長 辻野 守 典

謹んで1996年の年頭のご挨拶申し上げます。

昨年中は当協会に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、本年もよろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて昨年は阪神大震災（1月17日、5時46分、直下型、マグニチュード7.2）で年が明け、オウムと金融機関の倒産で終わったような気がします。

地震の前兆について、他の動物はいつもと違う微妙な変化を感じとっていたようで、東明石漁協の漁師さんの話として次のようなことが、新聞に掲載されていました。

タコ壺を引き揚げながら、いつもの手応えがない。たまに入っているタコ壺には産卵期でもないのに、雄と雌が同じタコ壺にまるで抱き合っているようにしている。奇妙な現象だった。『海が狂うとる』50年間の漁師生活の中でも初めての出来事に背筋が震えた。とあります。

阪神大震災が起きる何ヵ月も前から兵庫県猪名川町を中心とした群発性地震が頻発し、住民は大震災の前兆ではないかとの不安が高まっていました。

関係諸機関の対応は鈍く、住民のいら立ちを増幅させていた矢先の大地震でした。

阪神大震災に際して思うこと。まず、ロス大地震の時日本の高速道路（高架橋）の安全性が強調されていました。素人目にも本当かな、とても信じられないとの思いでした。結果は一瞬にして倒壊。敗戦時を思い出させるような廃墟と化し、日本の安全神話は崩壊しました。活断層上にあることは百も承知のことではなかったのか。

二つ目は猪名川群発地震が阪神大震災の前兆ではなかったのか、との思いです。

人間以外の動物では地震の前兆を感じとっていたようで『前兆証言1519』という本も出版されています。

動物が感じる前兆を人間も出来るような科学技術の進歩を望みたいものです。

## 新年のごあいさつ



大阪市環境保健局長

關 淳 一

新年あけましておめでとうございます。

平成8年の新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様の御多幸と御繁栄を心からお祝い申し上げます。

旧年中は、本市の環境保健行政をはじめ市政の推進に格段の御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月にはアジア、太平洋18か国・地域の首脳、代表がここ大阪に集い、APEC'95大阪会議が開かれ、成功裏のうちに幕を閉じました。こうした首脳クラスの参加する第一級の国際会議がわが国において東京以外で開催されたのは初めてのことであり、大阪を世界にアピールする絶好の機会となりました。現在大阪市では、21世紀の新しい時代に向けて、生涯を心豊かに暮らせる人間主体のまち、世界に貢献するまちをめざし、人と環境にやさしい、文化の香り高い、「世界都市大阪」のまちづくりを進めているところでございます。

環境保健局におきましては、保健、医療などの分野で市民の身近な生活環境の向上に取り組んでおりますが、近年、個人のライフスタイル等の多様化に伴い、市民の快適な環境に対するニーズは年々高まりをみせております。このような状況のなか、健康に関わります生活環境についての相談・啓発事業など住居衛生の問題にも積極的に取り組むとともに、その向上に努めてまいりたいと存じます。

また、これら事業の推進にあたり、貴協会がこれまで培われてこられた環境整備における豊富な知識、経験と高度な技術は、私どもといたしましても誠に心強いものであり、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ



堺市環境保健局衛生部長

梶 原 弘 道

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様には、すがすがしい新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、本市衛生行政に各段のご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件等、日本中を震撼させる大事件が続出する文字通り激動の一年となりました。大災害に対する衛生医療をはじめとする行政の対応の重要性をあらためて認識した次第でございます。

また、経済情勢にも明瞭な好転の兆しは未だおとずれておらず、本市の財政状況はますます厳しいものとなっております。一方、本市は今世紀中の政令指定都市への移行という大きな目標を掲げておりますが、本年4月にその飛躍台となる中核市への移行が予定されております。このような中でも中核市、さらには政令指定都市にふさわしい質量ともに充実した、しかも多様化する市民のニーズに対応しうる保健衛生サービスの提供を通じて、衛生行政の体制整備に一層努めてゆく所存でございます。

近年、市民の間にも、「健康は自らが求め、守り、創るもの」との意識が高まっております。こうした市民の意識に応え、その健康づくりを支援するために、成人病をはじめとした各種の健(検)診や相談事業のより一層の充実を図ります。さらに、老人保健施設・訪問看護ステーションの整備、退院後の寝たきりを防止するための脳卒中地域ケア推進事業、骨粗しょう症検診などの高齢社会に対応した地域保健事業の充実も進めてゆきたいと思っております。

常日頃から防疫の充実にご貢献され、豊富な知識、経験と高い技術力に裏付けられた貴協会の存在は、本市にとりましても誠に心強いものがあります。「ひとりひとりが健康で住み良いまち堺」をめざす本市の事業の推進のために、なお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



東大阪市保健衛生部長

金 木 義 直

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、すべての市民が住みなれた地域社会のなかで、生涯を通じ健康で生きがいをもって過ごすことができるように、本市では「健康でたがいに支えるあたたかいまちづくり」を目指して、保健、福祉、医療の有機的な連携による総合的な施策の推進に努めております。

本市医療の拠点として、高度化する医療需要に対応するため、昨年夏に着工いたしました市立新総合病院は、平成9年度の完成に向けて、着々と工事は進んでおります。

また、伝染病予防と生活環境の整備については、本市新基本計画の中で、ネズミ、衛生害虫等の発生を抑止するため、環境整備の改善に努めるとともに、駆除事業を推進することとしております。そこで、防疫事務所では、衛生害虫等の駆除事業の円滑な推進に努める一方、「昆虫などの相談展示室」において、多数の昆虫標本や害虫駆除の各種資料を展示するとともに、市民の苦情相談を通じて、自然との調和や害虫駆除の重要性を理解していただいております。

今後、これら保健衛生行政をさらに充実させるため、貴協会のなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



阪急電鉄株式会社

鉄道本部 鉄道営業部 調査役

生 井 昌 樹

新年あけましておめでとうございます。

すがすがしい新春を迎え、皆様方のご多幸とご繁栄を心よりお祝い申し上げます。

大阪防疫協会の皆様方には、日頃より当社の駅美化に対し格別のご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

昨年の1月17日未明に発生した地震は、兵庫県南部を直撃し、当社にも大きな損害をもたらしました。懸命の作業により6月12日には全線の復旧を果たすことができました。この間に各方面から多くのご支援を頂きましたことは、まことに感謝の念に堪えません。この場をお借りしてお礼申し上げます。

この震災により、私達は改めて鉄道が機能不全に陥った時の日常生活へ与える影響の大きさを認識しました。鉄道事業の果たしている社会的責務の大きさを思い、『安全確保』という言葉の重みをかみしめることとなりました。今後も、より一層の安全運行に向けて努力を重ねてまいりたいと思います。

さて、当社の駅は今、少しずつ変わりつつあります。昨年4月、十三駅のホームに当社直営のコンビニエンスストアが開業いたしました。同時期に梅田駅構内に開業した直営のベーカリーなど4店舗共々、多くのおお客様にご利用頂いております。電車を待つ間に、ちょっとした買い物が駅でできる手軽さを多くの方々が受け入れてくださった結果であり、今後も他の駅に拡げていきたいと考えています。

依然として景気低迷が続く気配の中、私達の駅から世の中をもっと明るくしていきたいものだと考えています。駅をより身近で便利な場所にしたい。この想いを『コンビニエンスステーション』という言葉に託して。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



南海電気鉄道株式会社  
鉄道事業本部 運輸部 運輸第一課長

山本 進

新年あけまして、おめでとうございます。

新春を迎え皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

平素は当社業務に格別なご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、私は入社以来30有余年、運輸一筋を歩み、なかでも南海線列車区で大半を過してきました。列車区では運転事故防止が至上命令であり、とりわけ決定打のない「ヒューマンエラー」防止対策との戦いでもありました。「まさか」の安易感に溺れず、常に危機感と先手「もしかして」の予防対策に明け暮れたと言っても過言ではありません。

無事故の継続、維持する事の難しさを入社以来これ迄幾度となく体験してきましたが、これは私達に課せられた永遠の課題でもあります。

一方、関西国際空港の開港に併せ、難波駅を中心に当社の施設もよりグレードアップされました。お客様に常に気持ちよく乗車していただける駅・車内づくり——これも事故防止とともに当運輸課の大きな責務であります。

美化推進について、貴協会に頼るだけでなく監督者の率先垂範、積極的な合間清掃、お客様に美化協力の呼びかけ等、職場では地道な努力を続けています。

汚れが目についてきたからするのは、ただの清掃で、汚れる前に清掃する美化意識、これが本当の清掃であると言われていました。

事故防止と美化の推進、ともすれば惰性に流れやすい。

「お客様第一」をモットーに、空港開港当初の意気込みを、事故防止と美化推進に更に邁進していく所存であります。

そのためにも、貴協会の一層のご理解・ご支援をお願いすると共に、貴協会の益々のご発展をお祈り致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年を迎えて



関西テレビ放送株式会社  
総務局次長 兼 総務部長 兼 秘書部長

丸山 昭男

昨年中は何かと御世話になりまして、大変有難うございました。本年も変らぬ御交誼の程よろしくお願い申し上げます。

さて、未曾有の大災害をもたらした、阪神大震災からはや1年がたちました。

関西に住む私達にとって、今年のお正月は、「お目出とう」と心からいうには、何とも実感が伴わないというのが正直なところで。今年こそ平穏な年でありますよう只只、祈るのみの気持ちです。

三宮や元町界限は、着飾った若い人達や家族連れで賑い、復興のスピードも予想をこえる早さを見せています。しかし、一方では身寄りのないお年寄りが避難所でお正月を迎え、多くの被災者が、やるせない気持ちでいるのが現実だからです。

震災からの復興に向けて、我々マスコミの果すべき仕事は、これからが正念場だと強く感じています。

ところで、今年は「子歳」、エトまわりの最初の年です。被災地の新生元年として、何か、とびきり明るいニュースを期待したいものです。

我々を勇気づけ、励ましてくれたオリックスの連覇はもちろん、阪神タイガースの優勝も？そして、地元チーム同士の日本一決定戦を夢見たいものです。

関西テレビ放送でも、全社員がワクワク期待している事があります。現在建設中の新社屋が、来年春に完成する事です。森林公園に衣替えする、北区・扇町公園の一角に、地下2階、地上13階、高さ84メートルの社屋が誕生します。クスノキやケヤキなどの背の高い樹木や、四季を感じさせる木々に囲まれ、KANSAIから世界に発信するテレビ局として生まれ変わります。軽快で、親しみのある「開かれた局」をめざし、頑張ります。

皆様の御来訪をお待ちしています。